

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】令和5年1月11日(2023.1.11)

【国際公開番号】WO2022/014266

【出願番号】特願2022-536197(P2022-536197)

【国際特許分類】

G 0 1 R 1 5 / 2 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

【 F I 】

G 0 1 R 1 5 / 2 0

D

10

【手続補正書】

【提出日】令和4年12月27日(2022.12.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

20

被測定電流が流れるバスバと、  
 前記バスバに対向する位置に配置された磁気センサと、  
 前記バスバと前記磁気センサとの対向方向において、前記バスバと前記磁気センサとを間に挟むように配置された一対のシールドと、  
 を備えた電流検出部が複数配置された電流検出装置であって、  
 前記電流検出部は、それぞれが備える複数の前記バスバが互いに並列して延設され、当該複数の前記バスバは、前記対向方向に互い違いに配置されておらず、  
 前記対向方向に沿って見たときに、隣り合う前記電流検出部の前記シールド及び前記磁気センサの位置は前記バスバの延設方向において互いに異なっており、  
前記バスバの延設方向に沿って見たときに、前記バスバが並列して配置される方向において、隣り合う前記電流検出部の前記シールドは互いに一部が重なっており、  
前記対向方向に沿って見たときに、前記一対のシールドの少なくとも一部が、隣り合う前記電流検出部の前記バスバに重なる位置まで延設されていることを特徴とする電流検出装置。

30

【請求項2】

被測定電流が流れるバスバと、  
前記バスバに対向する位置に配置された磁気センサと、  
前記バスバと前記磁気センサとの対向方向において、前記バスバと前記磁気センサとを間に挟むように配置された一対のシールドと、  
を備えた電流検出部が複数配置された電流検出装置であって、  
前記電流検出部は、それぞれが備える複数の前記バスバが互いに並列して延設され、  
前記対向方向に沿って見たときに、隣り合う前記電流検出部の前記シールド及び前記磁気センサの位置は前記バスバの延設方向において互いに異なっており、  
前記バスバの延設方向に沿って見たときに、前記バスバが並列して配置される方向において、隣り合う前記電流検出部の前記シールドは互いに一部が重なっており、  
 前記対向方向に沿って見たときに、前記シールドは、外縁の一部に切り欠き部を有し、前記切り欠き部に、隣り合う前記シールドの外縁の一部が組み合わさることを特徴とする電流検出装置。

40

【請求項3】

前記対向方向に沿って見たときに、前記一対のシールドの少なくとも一部が、隣り合う

50

前記電流検出部の前記バスバに重なる位置まで延設されている請求項 2 に記載の電流検出装置。

【請求項 4】

隣り合う前記電流検出部において、前記シールドの前記対向方向の位置は互いに同一であり、前記磁気センサの前記対向方向の位置は互いに同一である請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載の電流検出装置。

10

20

30

40

50